

令和3年度農作物病虫害発生予察技術資料第2号

令和3年(2021年)4月16日
山口県病虫害防除所

タマネギ腐敗病の発生状況と防除対策について

4月中旬の巡回調査の結果、3月下旬からタマネギの腐敗病の発生が急激に増加していますので、下記を参考に防除の徹底をお願いします。

記

1 発生状況

4月中旬の巡回調査では、発生ほ場率24.0%(平年10.0%)で平年に比べ多かった(図1、2)。

2 防除対策

- (1) 排水不良は発病を助長するので、ほ場の排水を良好にする。
- (2) 伝染源となる発病株(写真1、2)を早期に抜き取り、ほ場外に持ち出し適正に処分する。
- (3) 現在、本病の発生が認められるほ場では、薬剤防除を徹底する(表)。
- (4) 貯蔵中の発病を防ぐため、収穫は晴天日に行う。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 強風雨の前後に予防散布する。
- (2) 薬液が株元にかかるよう、丁寧に散布する。
- (3) 害虫の食害痕から感染する場合があるので、害虫を対象とした防除を徹底する。



写真1 タマネギ腐敗病の発病株
(鱗茎が軟化腐敗)



写真2 葉身に発生した水浸状の病斑

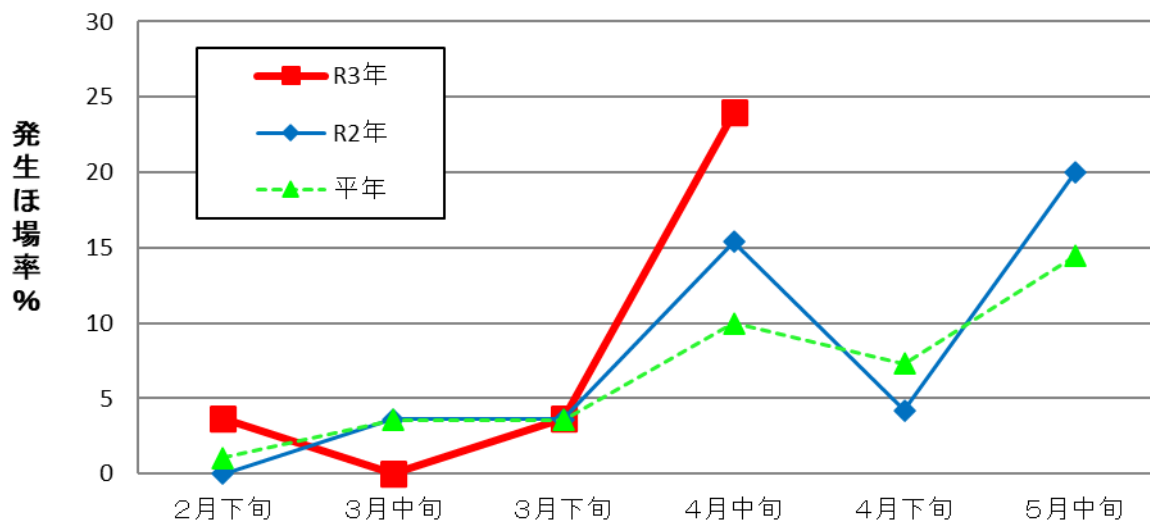


図1 タマネギ腐敗病の発生推移

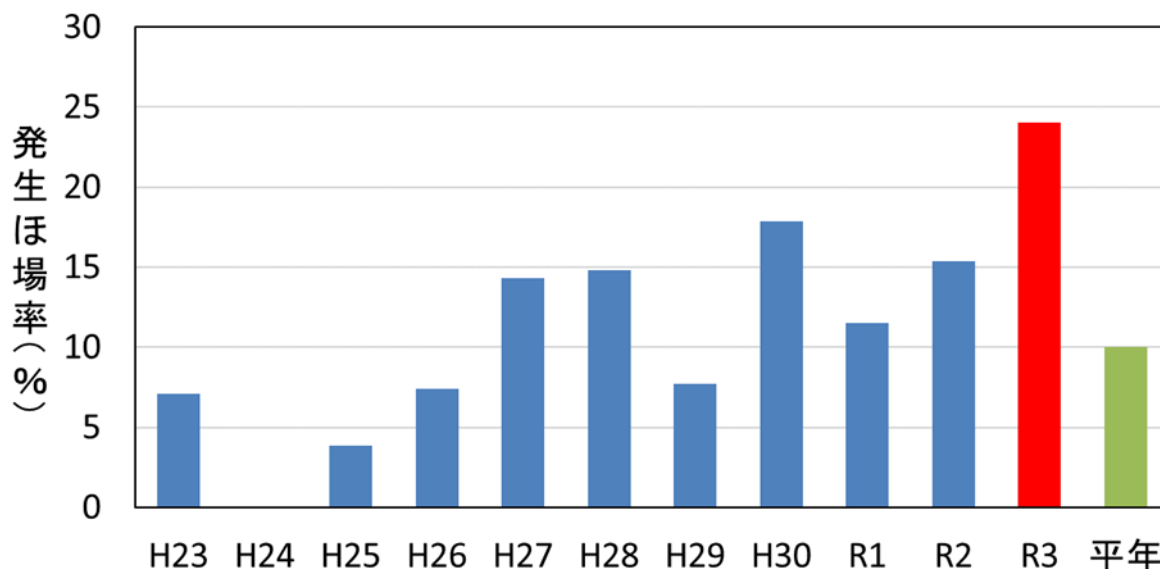


図2 タマネギ腐敗病の発生ほ場率(4月中旬、巡回調査)

表 タマネギ腐敗病及び軟腐病の防除薬剤一覧 (令和3年4月15日現在)

系統	殺菌剤コード	殺虫剤コード	一般名	商品名	軟腐病	腐敗病	希釈倍数・使用量 散布液量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用方法	成分含む 使用回数
抗生物質	25		ストレプトマイシン水和剤 25%	マイシン20水和剤(普)	○		1000倍	収穫7日前まで	5回以内	散布	ストレプトマイシン5回以内
	U18		バリダマイシン液剤 5%	バリダシン液剤5(普)	○	○	500倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	5回以内	散布	バリダマイシン5回以内
—	31		オキシロニック酸水和剤 20%	スターナ水和剤(普)	○		1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	オキシロニック酸5回以内
無機	M01		銅水和剤 23%	フジドールフロアブル(普)	○		500倍,100~300リットル/10a	—	—	散布	—
			水酸化第二銅 46.1%	コサイド3000 (普)	○		1000~2000倍,100~300リットル/10a	—	—	散布	—
有機銅	M01		有機銅水和剤 40%	キノドー水和剤40(普)	○		600倍,100~300リットル/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	有機銅3回以内
			ノニルフェノールスルホン酸銅水和剤 40%	ヨネボン水和剤(普)	○		500倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅5回以内